

おひなまつり

第1話

「母とおひなまつり」

お試し版



～おママごと～

長谷川さんちの親子関係



僕には年が若い
母親がいる

テンヤオキ

おちんちんヒーロー♡

母の名前は長谷川 優子
今年で32歳の一児の
母だ

未だに学生に間違えられる
くらい、若く見られるようで
10代の頃から変わらない
童顔が原因みたいだ
本人は童顔で言われるのが
嫌みたい

性格は少し天然でドジな
ところがあるが、一度決めたら
頑として動かない頑固な
一面もある

趣味は庭いじりとうちの
わんこと遊ぶこと。
ちなみにいつも気太りする
服装を好むがちよっと理由がある



母とは幼少の頃に

祖父母を亡くして以来

ずっと二人暮らしだった



幼少の頃は祖父母が

いたけれど、幼い頃に

亡くなってしまい、以来

二人暮らしだったので

自然と自分も母の

手伝いをやるようになり

家事分担して生活してきた

親子というより友達

のように仲の良い

家族みたいな感じだった

若くして僕を産んだ母は
苦労しながらも僕のことを
育ててくれた

子育てと学業と仕事を
こなしていても
苦労したみたい

父は生まれた時から
いなかったのでも、顔も
名前も知らない
母も話の気はないみたいだし
自分も今更知りたいと
思わないのでも聞いたことば
ないけれど…

母の特徴と言えは

とても大きなおっぱい

昔、お風呂と一緒に

入っていたときはよく

風船に例えて遊んで

いたのよ

とてました
重なるちゃたミし

胸のサイズに命を預けたい
が無いからしくいつも困るみたい

母の大きな胸が

僕は好きだけど

本人はコンプレックスみたい

ぽっ

っ
っ

そんな母と一緒に
生活してきて、そして
これからもそういう普通の
親子関係が続くものと
思っていた

女 50 歳







4コマ
ラブ
♥



祐一、今度長谷川くんのお母さんに会わせてよ

…えっえっ
…どうして？

長谷川くんは
あんなに美人なんじゃない？

なんかとても若くて
可愛いって聞いてヤ
しかもおっぱい大きい
とか！

えー、まじで？
いいなー

祐一、今度聞いてきてよ
どうやったたらそんな
おっきくなれるのかって
えっ、ええ？



優子のママ友
五十嵐 楓

ヒロくん？
元気だよー
来年は受験だから
お勉強大変そう
だけど

祐一、優子
あんたんとこの
寛人くん、どう？

おー、そういえば
あんたんとこはもう
大学受験がま

ヒロ君、私なんかより
全然頭良いから
教える事何もないよー

その学力うちの
バカガキどもにわけて
ちょうだいよ…

で、優子あの
話考えてくれた？

え？



まじでこんな時期かき

ほら、この間話したじさん
知り合いの男紹介して
あげるって話



はじめはナ、おたこや

友達も一緒に軽く
ご飯で良いからナ、ごろう

う、うん…
でも、ララのことも
あるし…

…優子ナ、子供の世話
にかかりつきりせったん
だしナ、そろそろ
アンタの幸せ考えても
良いんじゃない?



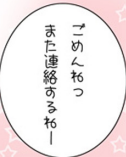
…うん…

あつ、ごめんね!
私買い物して帰らないと
いけないから、そろそろ
帰るね



あつちよつ…!

ごめんねっ
また連絡あるねー



…はあ、また
逃げられた…

アンタが良子ラブなの
は分かるけど、良子も
いつかは独り立ちある
んだしナ…



たぐいま

ツ

あっ、ヒロくんっ
おかえりなさいっ

お夕飯もうちめっことで
できるから、待っててお

お母さんの美人の
秘訣聞いといてね!

?

……そんなに美人かな
……うちの母親……

童顔だし、子供
っぽいし……

まあ、たしかに胸は
とても「かなり」大きいけど……

……どうしたの?
ヒロくん? ポーと
突っ立って?

ハッ!
……ご見てるんぜ

あ、いや……

その、部屋にいるから
ご飯できたら呼んで

あ、はい

できたら
呼ぶねー



キラッ





…そういえば…

母さんには再婚の
話とか、ないなあ…

休みの日も基本
家にいるが、僕と
買い物に出かけるかだし…

あんな子供みたいな
母親でも



子供って
言わないでー！

いつか誰かと
結婚あるのかな…？



…なんだろ…

…このモヤモヤした
気持ち…



あれ…？

いつのまにか
寝ちゃったのかな



なんだけ母さんの
匂いがある

エロちゃん…

エロちゃん
おっはっはっ
泣いちゃった

赤ちゃんの頃に
母のおっぱいを
しゃぶる癖

おっぱい
ママのおっぱい
好きでっかっ

あらあら、そんなに
強く吸い付いて

エロちゃんほほんとに
ママのおっぱい好き
なのお

もっと飲みたいの？
…良いわよ
エロちゃんがお腹一杯
になるまで飲んで
いつまでも
飲んで良いのよ

母の乳首の感触が

口全体に広がり

甘い蜜の味が安心感を

与えてくれる

たろ
たろ
たろ
たろ

生々しいほどに

リアルな感触が

夢が現実なのか境界線

が分からなくなる

たろ

あっ…

…やせ

もっと吸っていたい…

ママのおっぱい…

…ママ



…は…
自分の部屋…せぬち…

